

INNO SITE®

サイテック

S i T E C H 3D

体験マニュアル - 折れ点線形データの作成 -



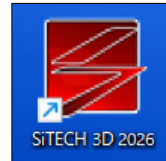
株式会社建設システム

SiTECH 3D テキスト 目 次

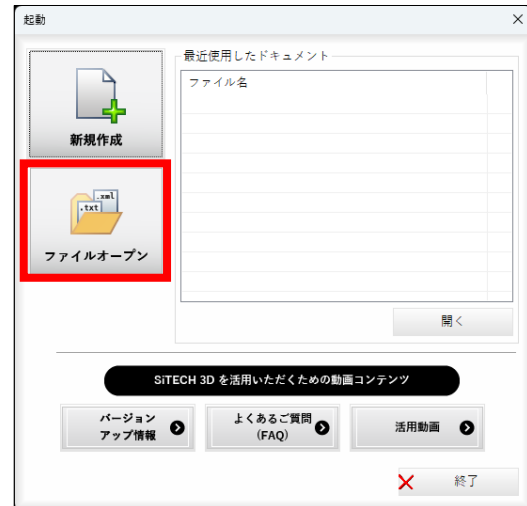
1. ファイルオープン.....	1
2. 平面線形計算	3
2-1 路線設定をする.....	3
2-2 平面線形要素を取得する	5
2-3 中心座標を計算する	7
2-4 図面と重ねて確認する	8
3. 縦断線形計算	9
3-1 縦断作成設定をする	9
3-2 縦断線形要素を入力する	11
3-3 計画高を計算する.....	13
4. 横断形状作成	14
4-1 新規横断を作成する	14
4-2 ベース図を配置する	18
4-3 横断形状を作成する（U 型側溝）	21
4-4 横断形状を複写する（左→右）	23
4-5 横断形状を作成する（折れ点）	25
4-6 3D モデルを平面図に重ねる	29
5. L 型擁壁（横断形状が異なる場合）	31
5-1 ファイルオープン.....	31
5-2 データを確認する.....	33
5-3 横断形状を作成する	35

1 ファイルオープン

SITECH 3D を起動します。

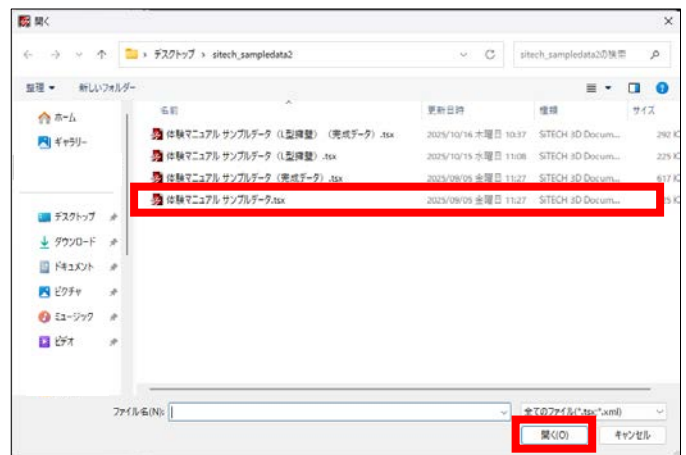


【ファイルオープン】をクリックします。

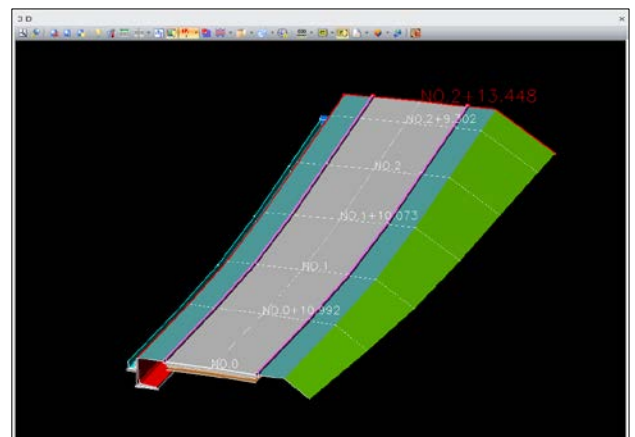


開く画面が表示されます。

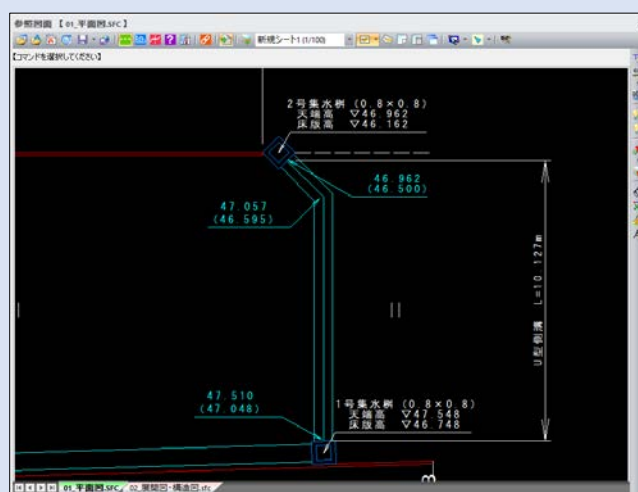
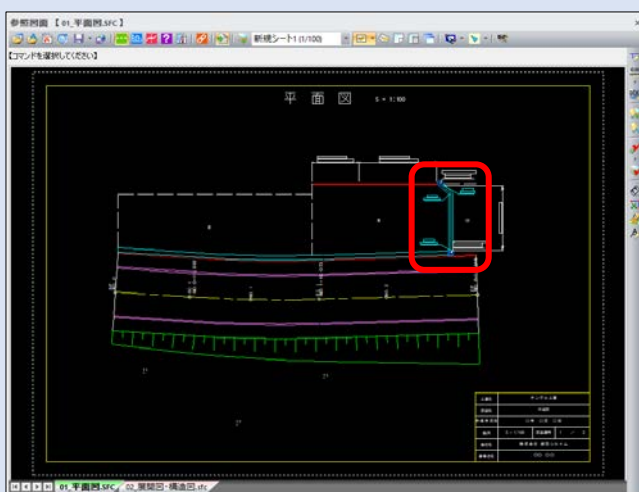
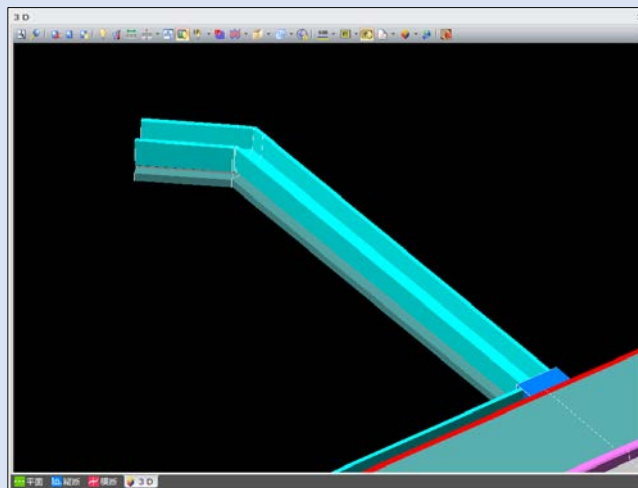
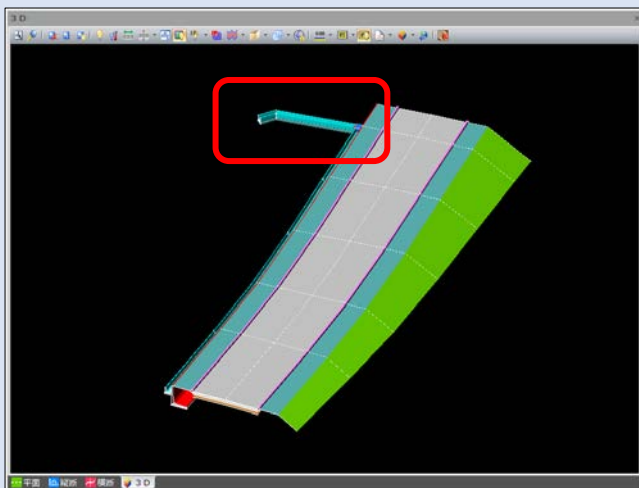
サンプルデータが保存されているフォルダーを指定し、「体験マニュアル サンプルデータ.tsx」を選択して【開く】ボタンをクリックします。



本線を作成したデータが表示されます。
こちらのデータに折れ点線形の U 型側溝を追加で作成します。



作成するデータ



参照図面画面、各プレビューでのマウス操作について

右ボタン+ドラッグ ※3D ビューのみ

マウスの右ボタンを押しながらマウスをドラッグすると、ドラッグする方向に回転します。

マウスホイール+ドラッグ

マウスホイールを押しながらドラッグすると、ドラッグする方向に表示位置が移動します。

マウスホイール

マウスホイールを上下に回転すると、画面を拡大・縮小することができます。

左ボタン+右ボタン

マウスの左ボタンと右ボタンを同時に押しながら、マウスを「右下」に動かすと、ツインドラッグした範囲が拡大されます。「左上」「右上」に動かすと、全体が表示されます。



上に回転（前転）すると拡大します。

下に回転（後転）すると縮小します。

2 平面線形計算

2-1 路線設定をする

まずは、新規で作成する路線の各設定を行います。

【編集】ボタンをクリックし、【作成】をクリックします。



路線設定画面が表示されます。
各設定をします。

①路線名	U 型側溝
②平面線形の入力方法	IP 法
③横断方向の左右	道路モード
④測点名形式	NO.
⑤測点間隔	20m
⑥単円の役杭名	SP.
⑦計算開始点名	NO.0 (追加距離 : 0m)

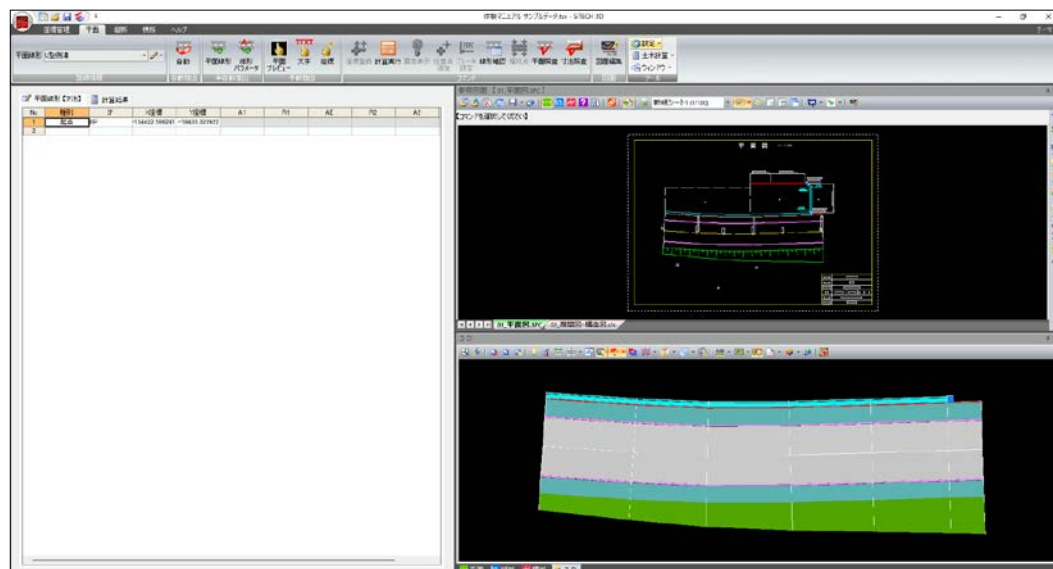
設定が完了したら、【OK】ボタンをクリックします。

The 'Route Setting' dialog box is shown with the following settings and numbered steps:

- ① 路線名: U型側溝
- ② 平面線形の入力方法: ☒ IP法 ☐ 要素法(卵型等) ☐ 横断が中心線形に直交しない
- ③ 横断方向の左右: ☒ 道路モード (起点から終点を見た方向) ☐ 河川モード (上流から下流を見た方向)
- ④ 測点名形式: ☒ NO. ☐ Oを小文字 ☐ STA. ☐ SP. ☐ 任意 ☐ 距離標
- ⑤ 測点間隔: ☒ 20m ☐ 50m ☐ 100m ☐ 任意 ☐ 測点名=距離
- ⑥ 単円の役杭名: ☒ SP. (BC-SP-EC) ☐ MC. (BC-MC-EC)
- ⑦ 平面線形計算開始点の設定: 計算開始点名: NO. 0 計算開始点の追加距離: 0.000 m

The 'OK' button is highlighted with a red box.

平面線形の要素入力画面に切り替わります。



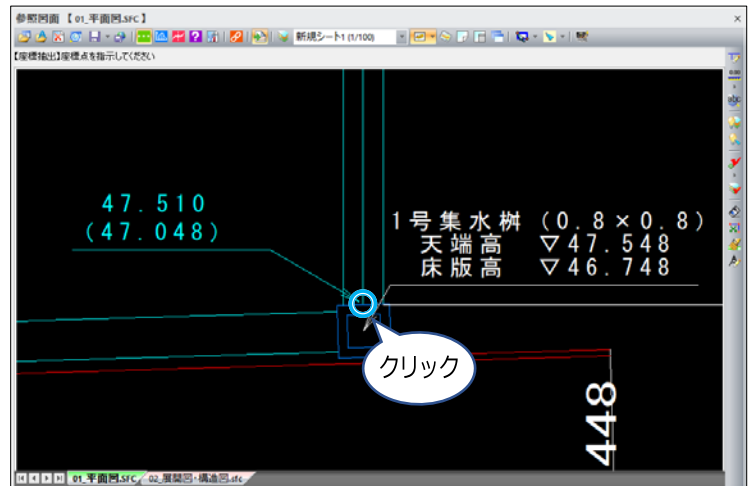
2-2 平面線形要素を取得する

平面線形の要素入力では、直接、「IP」「座標」等の情報を手入力することもできますが、座標が設定されている平面図上を指定することで容易に入力することができます。

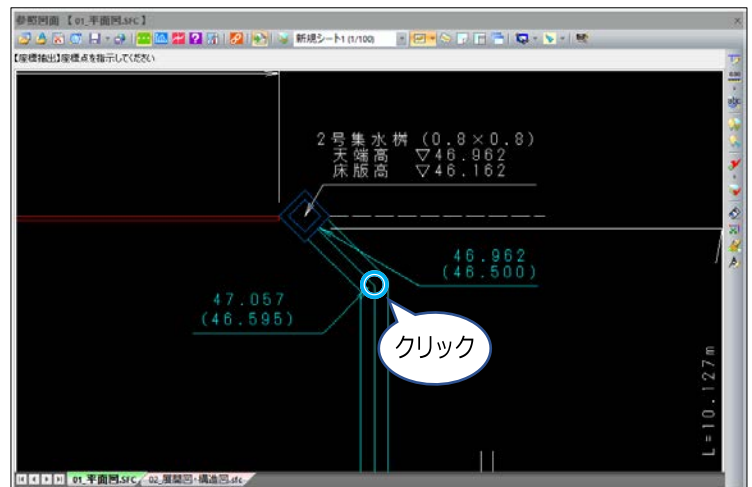
「座標」をクリックします。



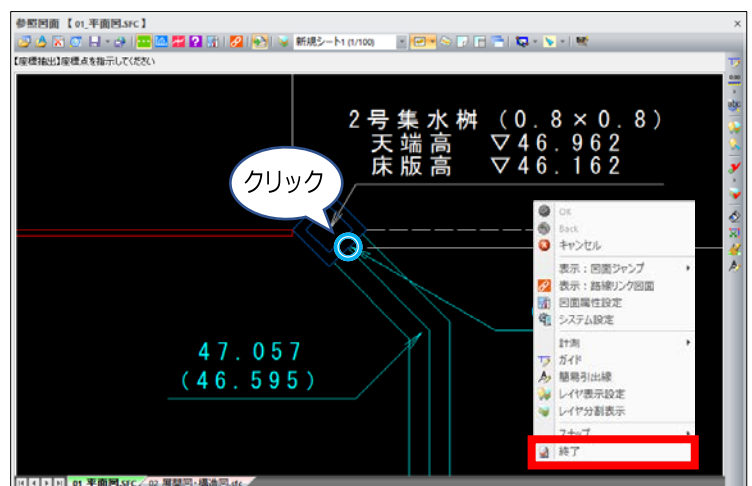
参照図面画面にて、U 型側溝の起点
(側溝の中心線) をクリックします。



続いて、折れ点をクリックします。



最後に、終点をクリックします。
[右クリック] - [終了] をクリックします。



平面線形の要素入力画面に座標が取り込まれます。

平面線形【IP法】		計算結果					
No	種別	IP	X座標	Y座標	A1	R1	AE
1	起点	BP	-154416.456999	-18385.857130			
2			-154408.091150	-18385.857130			
3			-154406.845590	-18387.102689			
4							

種別をドロップダウンから選択します。

2点目の種別を「折れ点」、最後の点の種別を「終点」に設定します。

平面線形【IP法】		計算結果					
No	種別	IP	X座標	Y座標	A1	R1	AE
1	起点	BP	-154416.456999	-18385.857130			
2	折れ点	IP.1	-154408.091150	-18385.857130			
3	終点	EP	-154406.845590	-18387.102689			
4							

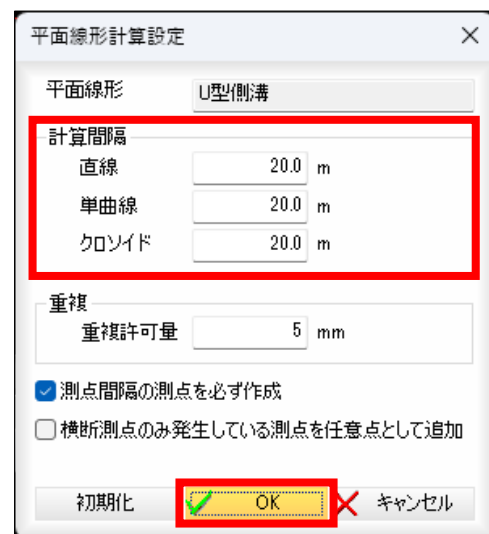
2-3 中心座標を計算する

設定した計算間隔で、入力した要素からセンターの座標を計算します。

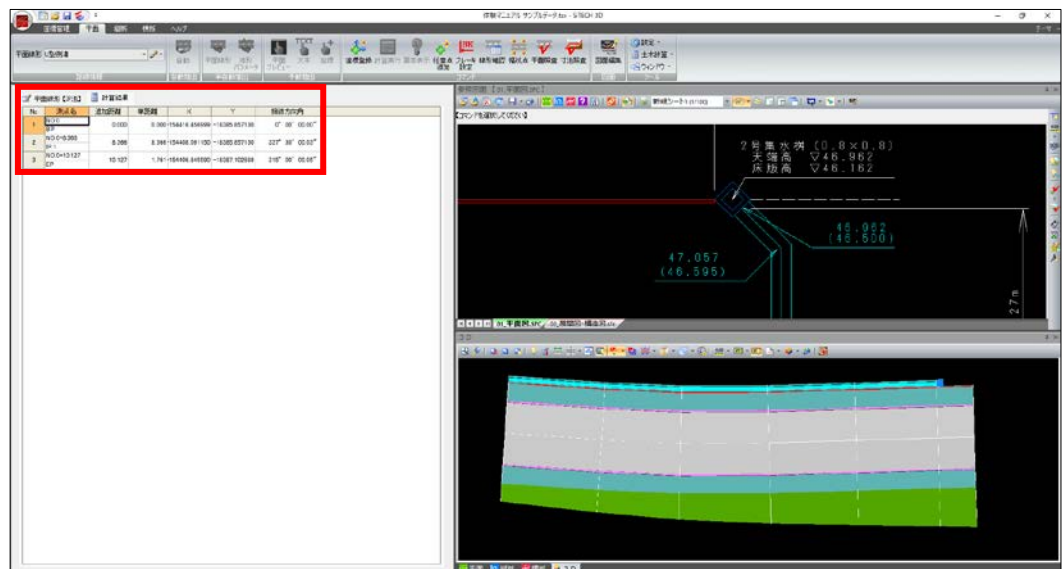
[計算実行] をクリックします。



平面線形計算設定画面が表示されます。
計算間隔が「20.0m」に設定されていることを
確認し、[OK] ボタンをクリックします。



中心座標が表示されます。



2-4 図面と重ねて確認する

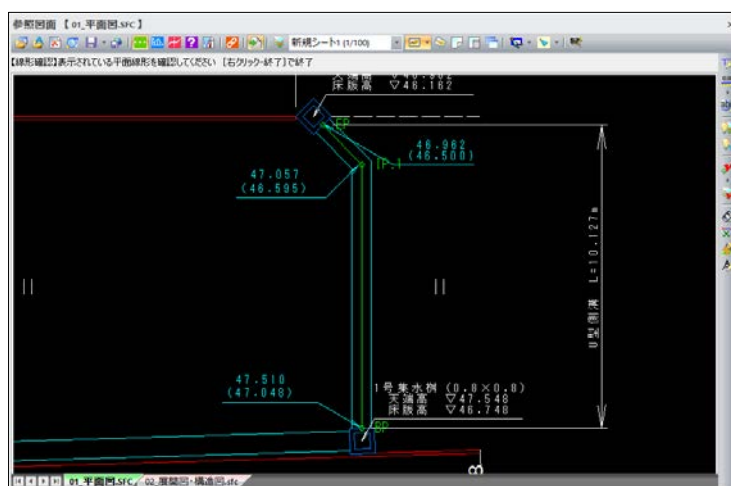
計算された線形を、図面と重ねて確認することができます。

【線形確認】をクリックします。



平面図に計算された線形が点滅して表示されます。

図面と重なっているか確認します。



線形確認を終了します。

【右クリック】-【終了】をクリックします。



3 縦断線形計算

3-1 縦断作成設定をする

縦断で作成する路線の設定を行います。

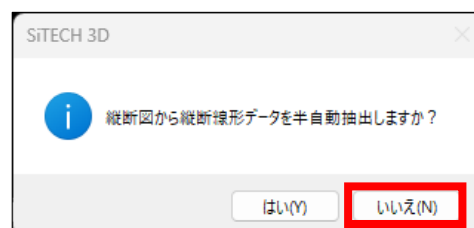
【縦断】をクリックします。



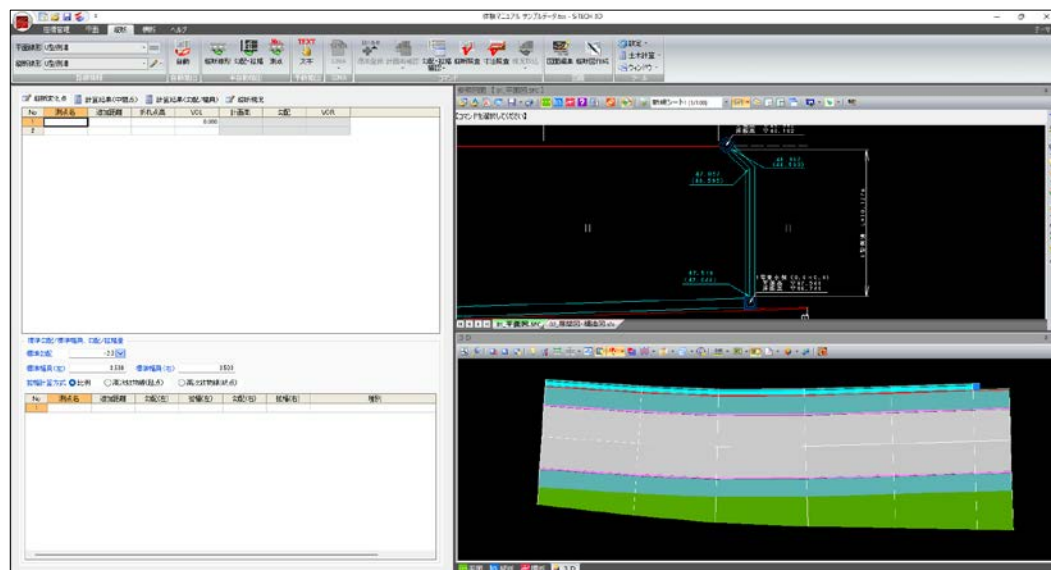
新規縦断作成画面が表示されます。
設定は変更せずに【OK】ボタンをクリックします。



確認メッセージが表示されます。
【いいえ】ボタンをクリックします。



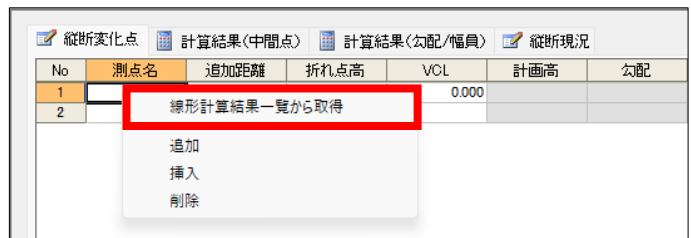
縦断線形の要素入力画面に切り替わります。



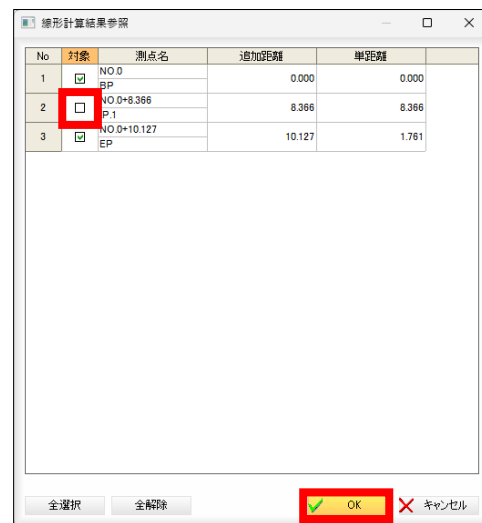
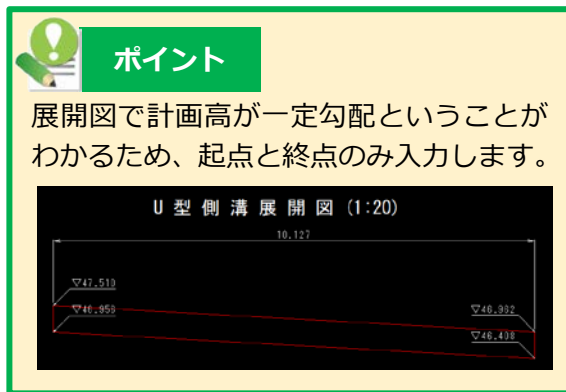
3-2 縦断線形要素を入力する

縦断線形の要素入力では、直接、「測点名」「追加距離」等の情報を手入力することもできますが、平面線形の計算結果から取り込むことで容易に入力することができます。

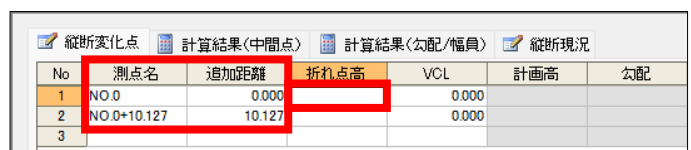
測点名欄を[右クリック] - [線形計算結果一覧から取得] をクリックします。



線形計算結果参照画面が表示されます。
「NO.0+8.366」のチェックを外し、
[OK] ボタンをクリックします。



測点名、追加距離が取り込まれます。
続いて折れ点高を入力するために、
NO.0 の折れ点高欄をクリックします。

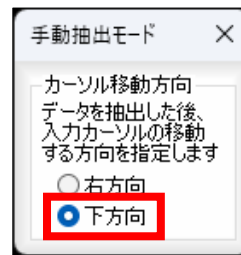


平面図に書かれている高さを取得します。[文字] をクリックします。

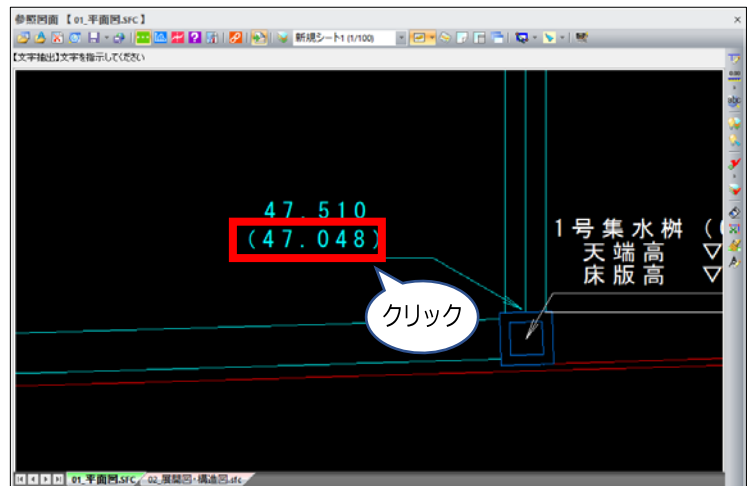


手動抽出モード画面が表示されます。

「下方向」をクリックします。

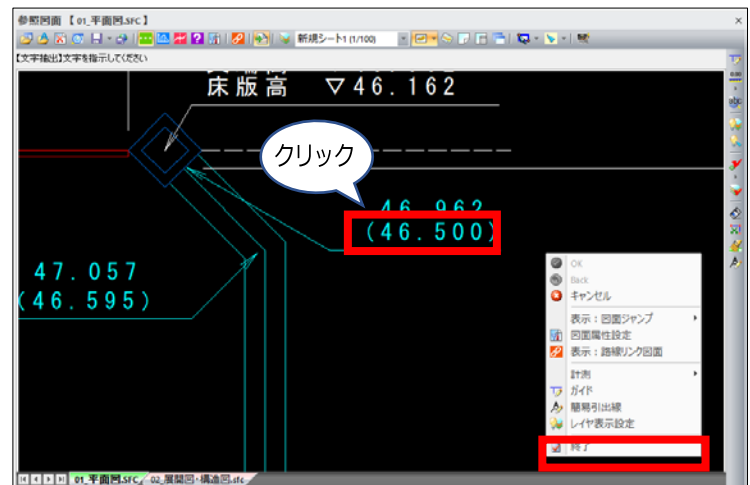


参照図面画面にて、U 型側溝の起点の計画高（水路高）をクリックします。



続いて、終点の計画高（水路高）をクリックします。

「右クリック」-「終了」をクリックします。



折れ点高が取り込まれます。

縦断変化点							
		計算結果(中間点)		計算結果(勾配/幅員)		縦断現況	
No	測点名	追加距離	折れ点高	VCL	計画高	勾配	VCR
1	NO.0	0.000	47.048	0.000	47.048	-5.411	
2	NO.0+10.127	10.127	46.500	0.000	46.500	-5.411	
3							

3-3 計画高を計算する

入力した折れ点高からセンターの計画高を計算します。

[計算結果 (中間点)] をクリックします。

<div> 縦断変化点 計算結果(中間点) 計算結果(勾配/幅員) 縦断現況 </div>								
No	測点名	追加距離	折れ点高	VCL	計画高	勾配	VCR	
1	NO.0	0.000	47.048	0.000	47.048	-5.411		
2	NO.0+10.127	10.127	46.500	0.000	46.500	-5.411		
3								

計算結果が表示されます。
計画高を確認します。

<div> 縦断変化点 計算結果(中間点) 計算結果(勾配/幅員) 縦断現況 </div>						
No	測点名	追加距離	計画高	計画高(図面)	勾配	Y
1	NO.0 BP	0.000	47.048		-5.411	0.000
2	NO.0+8.366 IP.1	8.366	46.595		-5.411	0.000
3	NO.0+10.127 EP	10.127	46.500		-5.411	0.000

4 横断形状作成

4-1 新規横断を作成する

横断を新規で作成し、種別・構築形状を設定します。

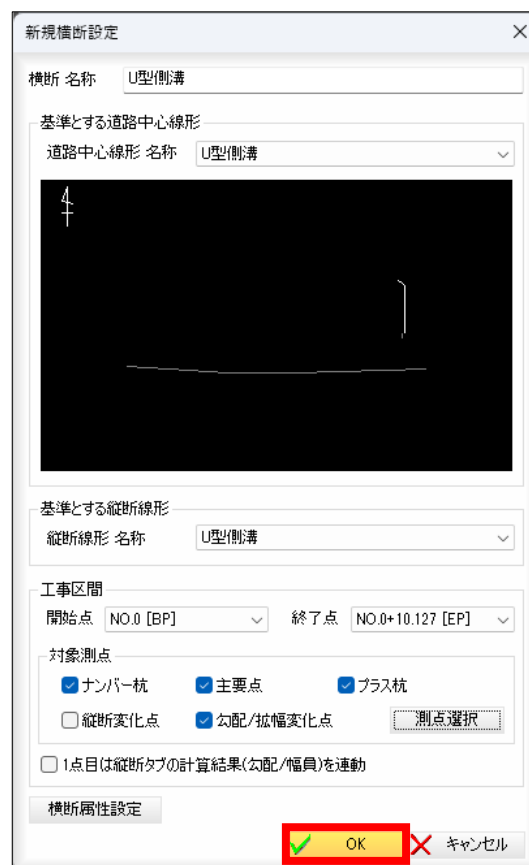
種別を先に設定しておくことで、構築形状作成時に選択できるようになり、種別名や色をそのまま使用することができます。

[横断] をクリックします。



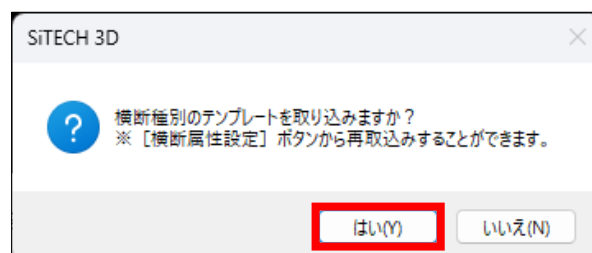
新規横断設定画面が表示されます。

設定は変更せずに[OK]ボタンをクリックします。

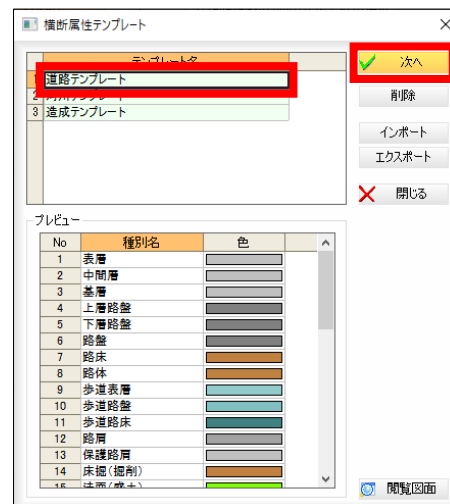


確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックします。



横断属性テンプレート画面が表示されます。
 [道路テンプレート] を選択し、[次へ] を
 クリックします。

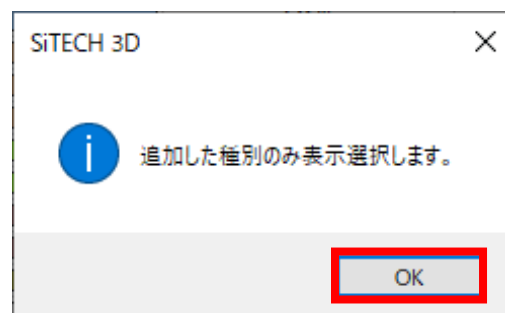


テンプレート取込み対象の選択画面が
 表示されます。使用する種別にチェック
 を付け、[OK] ボタンをクリックします。
 チェックを付ける種別

- ・ U 型側溝
- ・ 敷モルタル
- ・ 基礎砕石



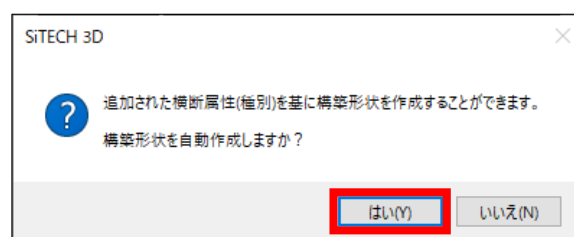
確認メッセージが表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。



横断属性設定画面が表示されます。
[OK] ボタンをクリックします。

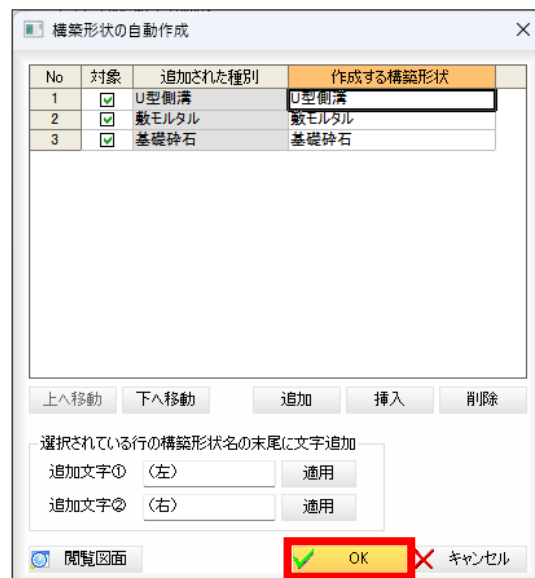


確認メッセージが表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。



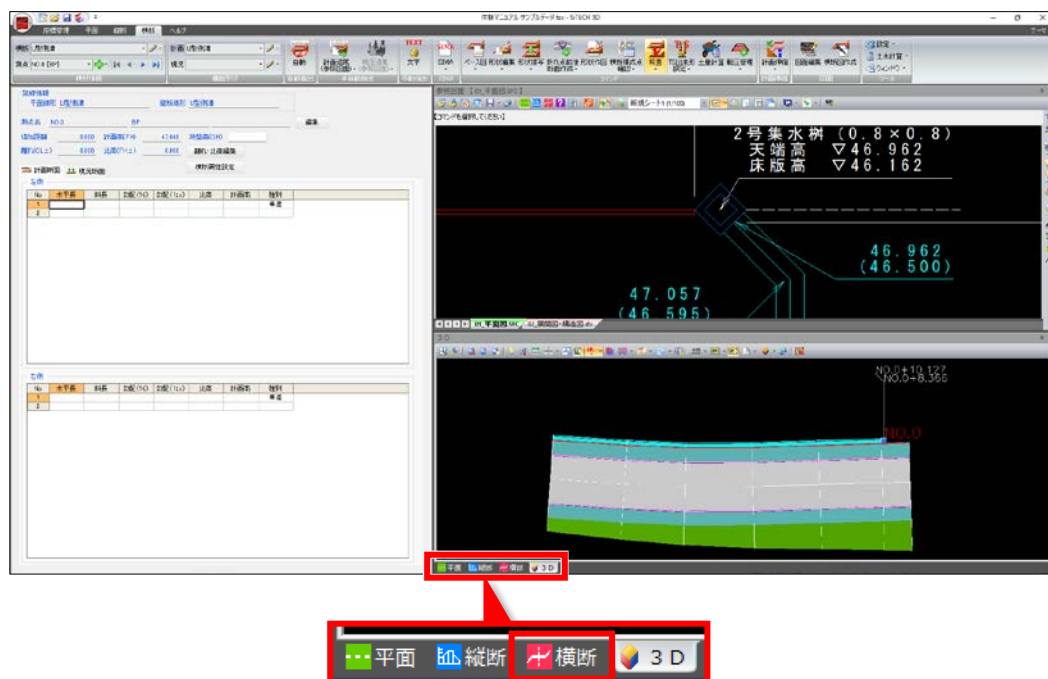
構築形状の自動作成画面が表示されます。
構築形状とは、作成する項目の器のようなものです。分けて作成することにより、管理がしやすくなります。

[OK] ボタンをクリックします。



横断入力画面が表示されます。

プレビュー画面の [横断] タブをクリックし、横断プレビューに切り替えます。



4-2 ベース図を配置する

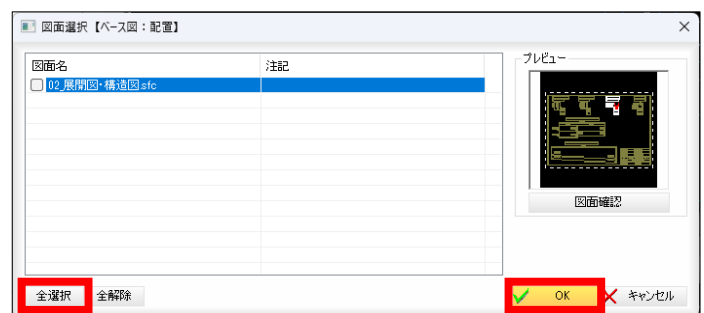
入力測点と参照図面を連携させるベース図の配置を行います。これにより、図面が自動で切り替わり、さらには横断面図と作成した計画形状を重ねて確認することができます。

【ベース図】 - 【配置】 をクリックします。



図面選択画面が表示されます。

【全選択】 ボタンをクリックし、【OK】 ボタンをクリックします。



ベース図：配置画面、新規作成画面が表示されます。

測点名欄に「NO.0」と入力し、【OK】 ボタンをクリックします。



対象要素を選択します。

U 型側溝を囲むように選択します。

(寸法線は除外します)

選択ができれば、[右クリック] – [OK]
をクリックします。

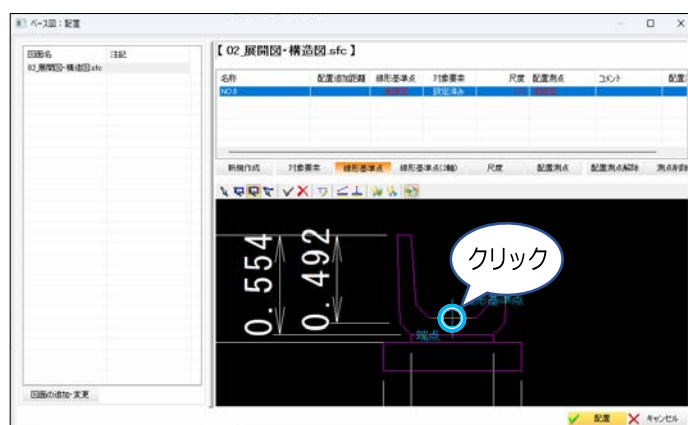


要素が紫色で選択されていることを確認し、[右クリック] – [OK] をクリックします。



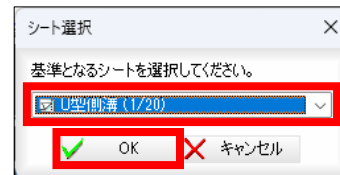
線形基準点を指定します。

縦断で入力した「水路高のセンター位置」
をクリックします。



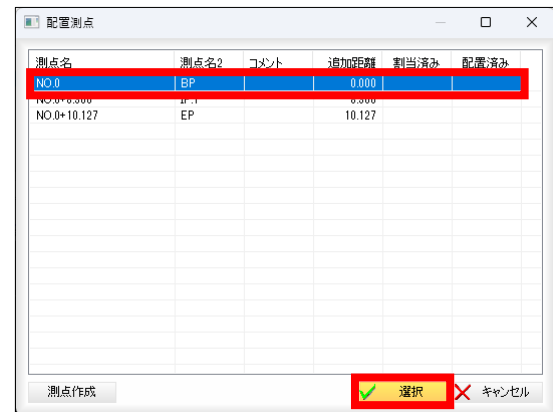
シート選択画面が表示されます。

「U 型側溝 (1/20)」を選択し、[OK] をクリックします。



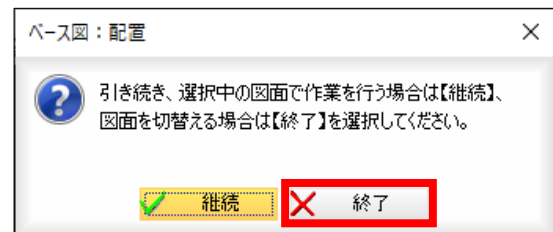
配置測点画面が表示されます。

NO.0 が反転していることを確認し、[選択] ボタンをクリックします。

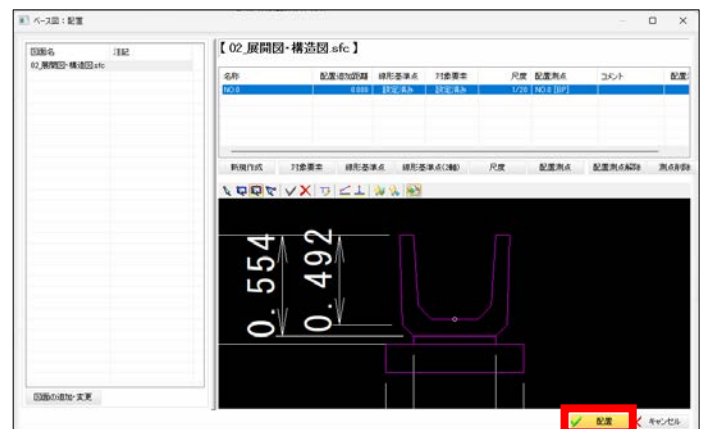


確認メッセージが表示されます。

[終了] ボタンをクリックします。

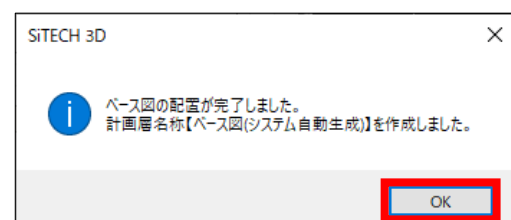


[配置] ボタンをクリックします。



情報メッセージが表示されます。

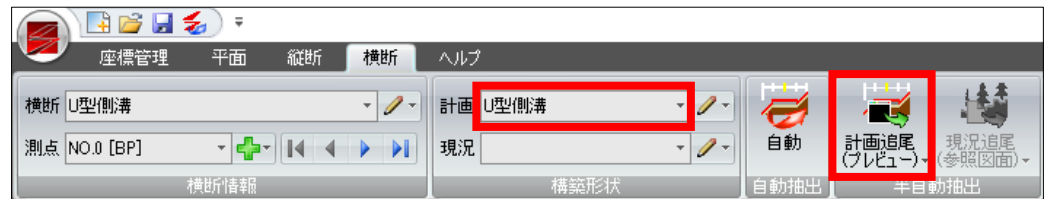
[OK] ボタンをクリックします。



4-3 横断形状を作成する（U 型側溝）


横断プレビューから横断形状を指定し、横断のデータ（U 型側溝）を作成します。

構築形状の「U 型側溝」を選択し、[計画追尾（プレビュー）] をクリックします。




形状指定モード画面が表示されます。

※今回は「任意点指定 - 左」を使用します。


**メモ**

任意点指定：横断変化点を指定するモード
要素追尾：横断形状を追尾するモード
構成点編集：既存の形状データを編集するモード
構成点編集（自動伸縮）：既存の形状データに擦り付けをするモード



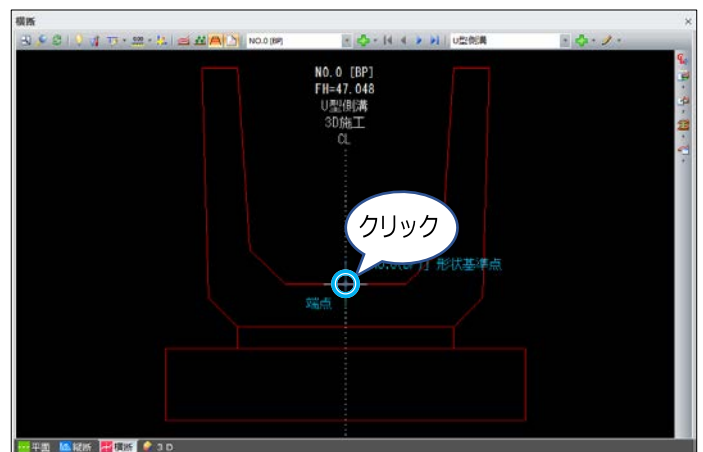
**ポイント**

横断プレビュー上で**右ダブルクリック**または **Shift キー+右クリック**をすると、よく使用する機能が表示され、マウスの移動距離を少なくしてコマンドを起動することができます。

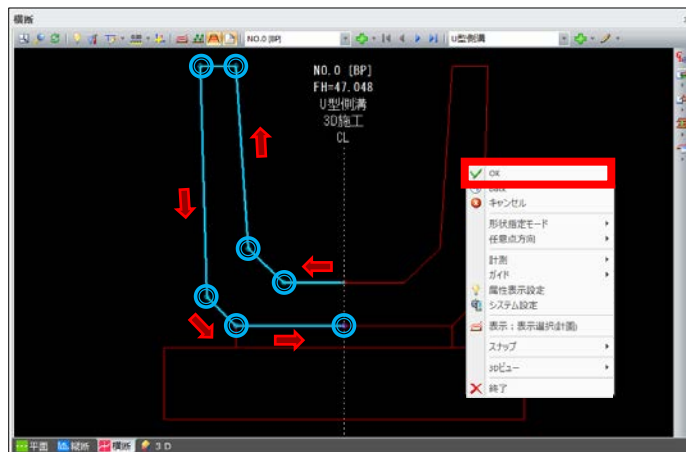


- 形状複写
- 計画追尾(プレビュー)
- 形状編集(プレビュー)
- 形状セット移動
- 離れ・比高編集
- 断面変化点作成
- 横断構成点確認
- 形状セットの配置

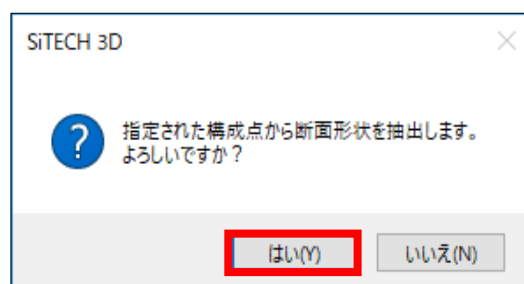
U 型側溝の水路高のセンター位置をクリックします。



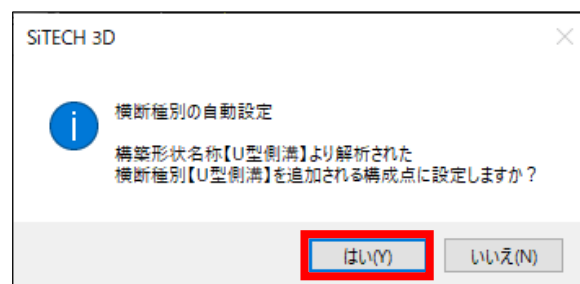
U 型側溝の構成点を反時計回りに指定します。左側半分を指定し、[右クリック] – [OK] をクリックします。



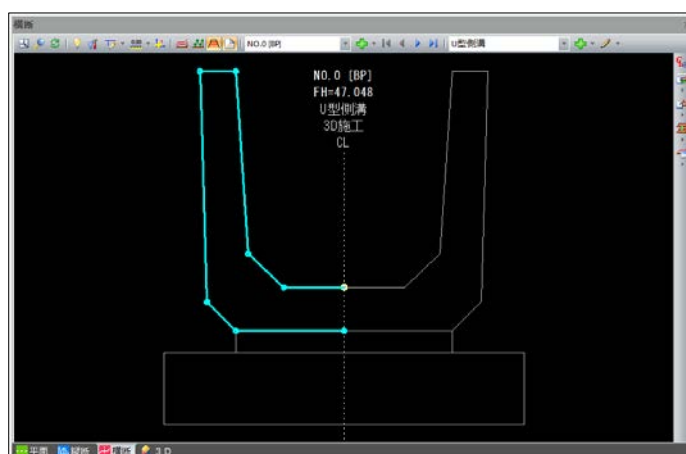
確認メッセージが表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。



続けて確認メッセージが表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。



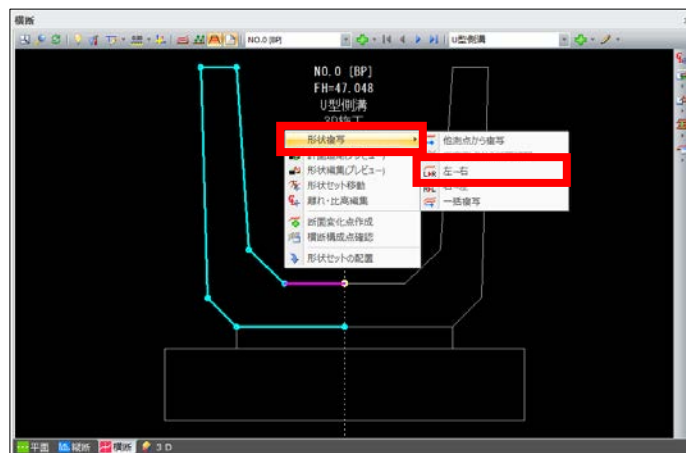
左側の形状が入力されます。



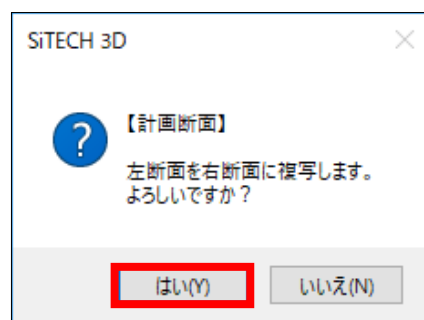
4-4 横断形状を複写する（左→右）

左側に入力した横断形状を、右側に複写します。

横断プレビュー画面上で[右ダブルクリック] - [形状複写] - [左→右] をクリックします。



確認メッセージが表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。



左側の形状が右側に複写されます。

計画断面

現況断面

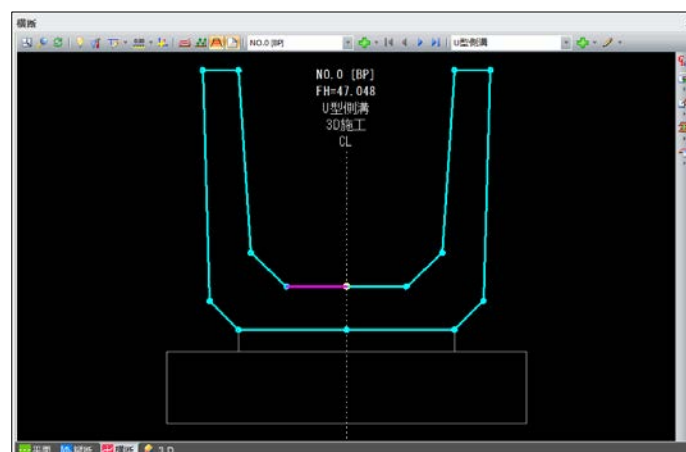
横断属性設定

左側

No	水平長	斜長	勾配(%)	勾配(1:x)	比高	計画高	種別
1	0.128				0.000	47.048	U型側溝
2				1.069	0.072	47.120	U型側溝
3				0.067	0.390	47.510	U型側溝
4	0.077				0.000	47.510	U型側溝
5				-0.031	-0.492	47.017	U型側溝
6				-1.000	-0.062	46.956	U型側溝
7	-0.231				0.000	46.956	U型側溝
8							

右側

No	水平長	斜長	勾配(%)	勾配(1:x)	比高	計画高	種別
1	0.128				0.000	47.048	U型側溝
2				1.069	0.072	47.120	U型側溝
3				0.067	0.390	47.510	U型側溝
4	0.077				0.000	47.510	U型側溝
5				-0.031	-0.492	47.017	U型側溝
6				-1.000	-0.062	46.956	U型側溝
7	-0.231				0.000	46.956	U型側溝
8							

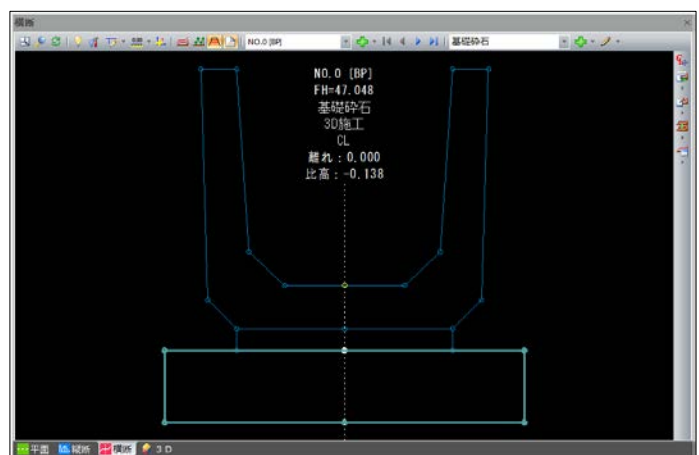
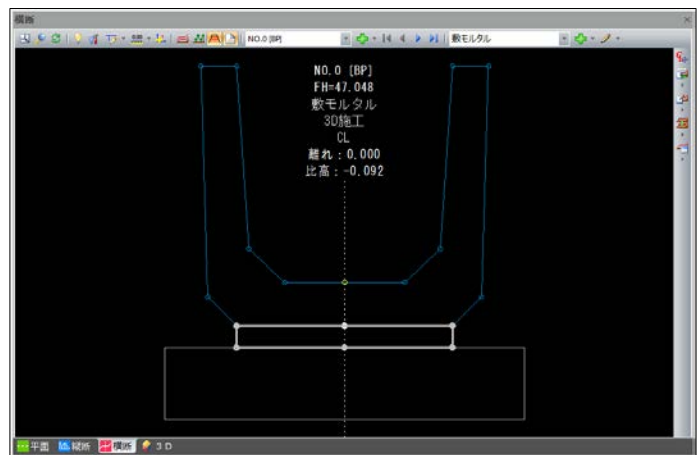
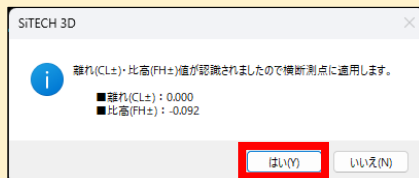


4-3 からの手順を参考に、「敷モルタル」、
「基礎碎石」を作成します。



ポイント

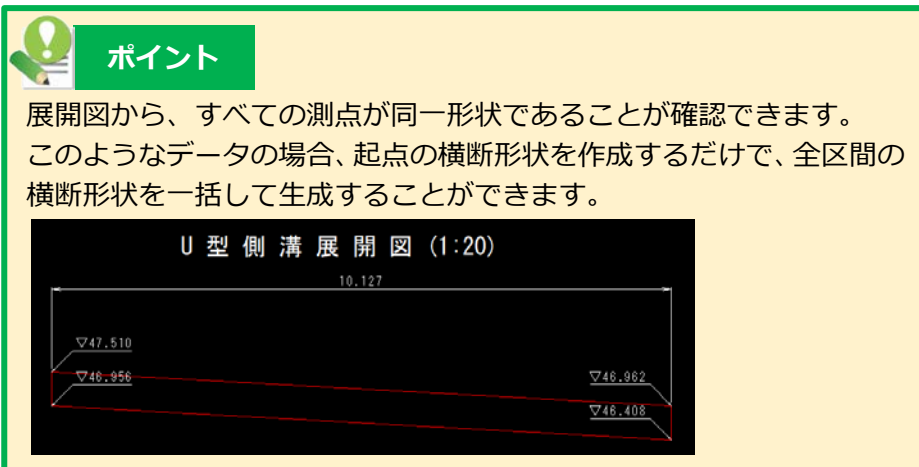
作成途中に離れ・比高のメッセージが表示されます。「はい」をクリックして進めてください。



4-5 横断形状を作成する（折れ点）

折れ点測点の横断形状を、交角に基づいて自動計算して作成することができます。

また、3D ビューを確認しながら、折れ点の前後に距離を指定して測点を作成することができます。

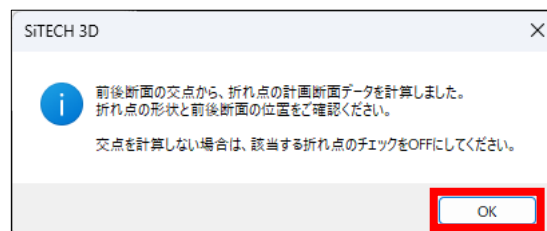


「折れ点区間自動作成」 - 「折れ点区間自動作成」をクリックします。



確認メッセージが表示されます。

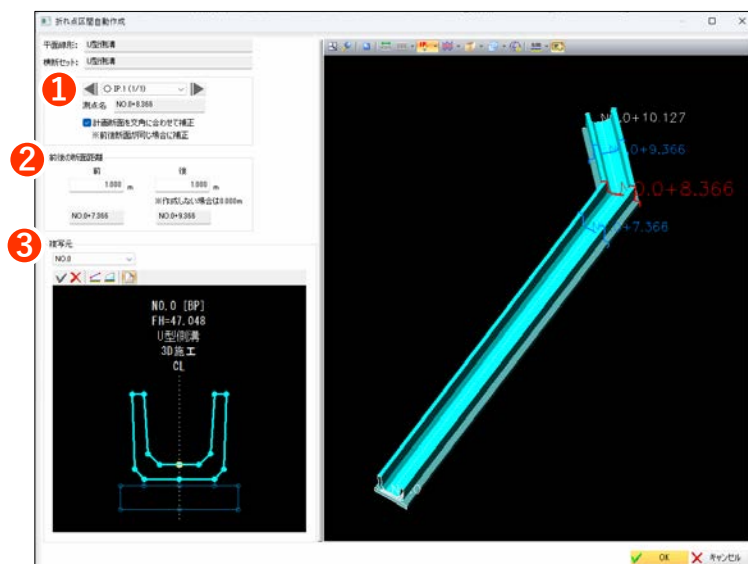
「OK」ボタンをクリックします。



折れ点区間自動作成画面が表示されます。

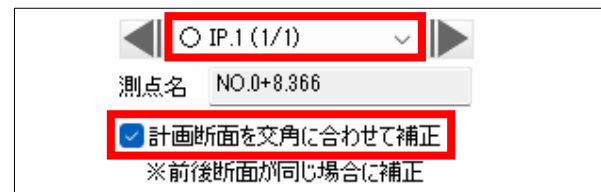
3つの設定を行います。

- ① 「IP（折れ点）」の選択
- ② 「前後の断面距離」を設定
- ③ 「複写元測点」を選択



① 「IP (折れ点)」の選択

「IP.1」が選択されていることを確認します。
※[計画断面を交角に合わせて補正]のチェックを有効にした状態のままにします。折れ点の横断形状の幅が交角に応じて自動的に広がります。

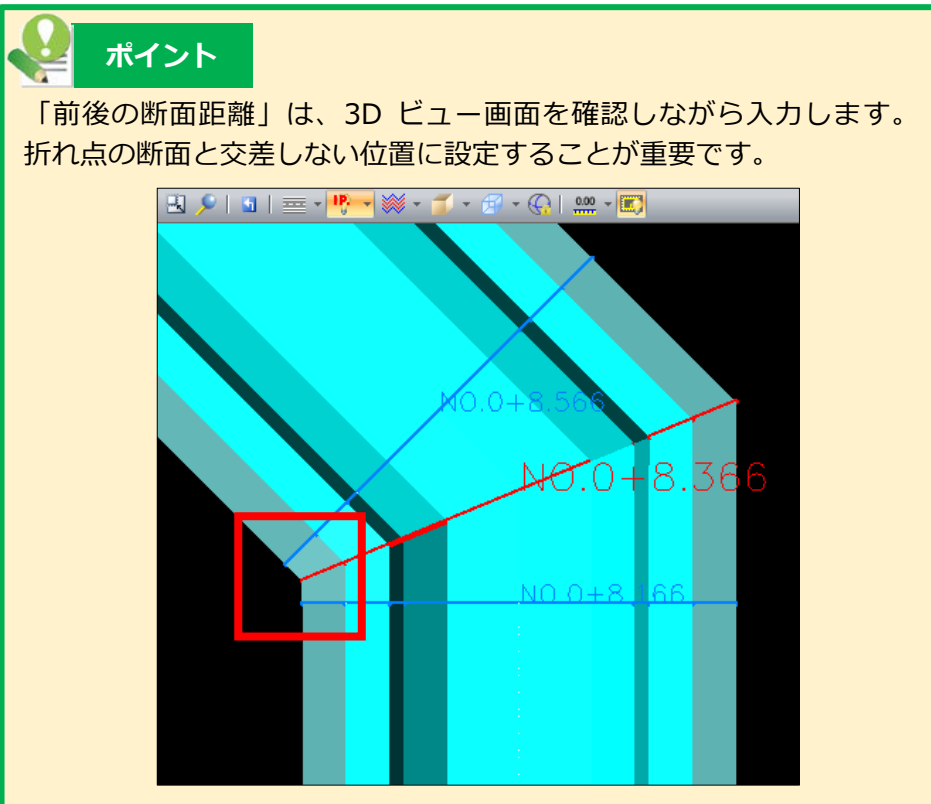


② 「前後の断面距離」を設定

IP の前後に作成する測点の位置を、IP からの距離によって設定します。

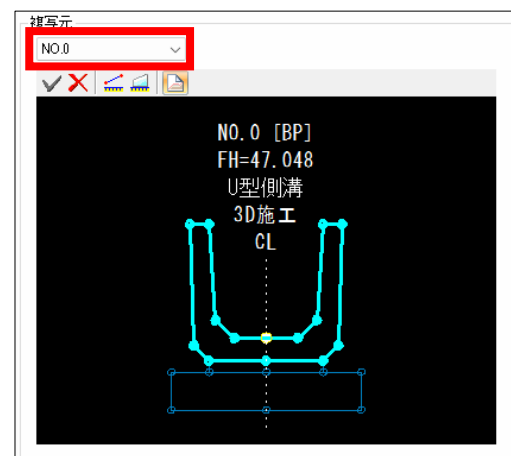
今回は「0.200m」に指定します。

なお、前欄に数値を入力すると、後欄も自動的に連動して数値が更新されます。

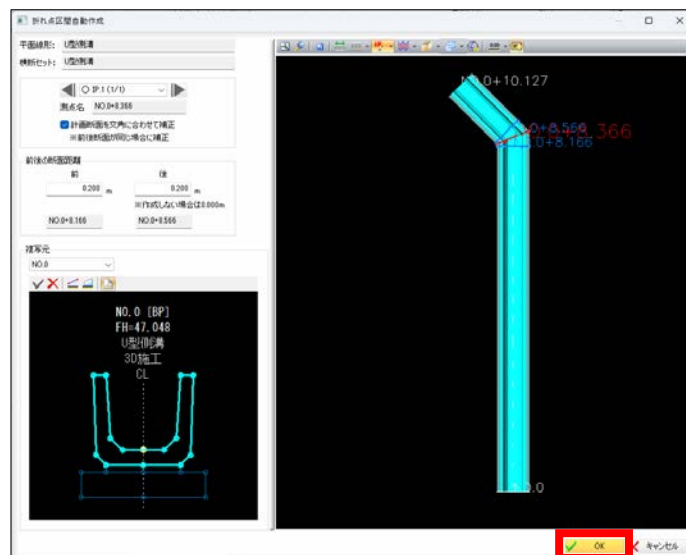


③ 「複写元測点」を選択

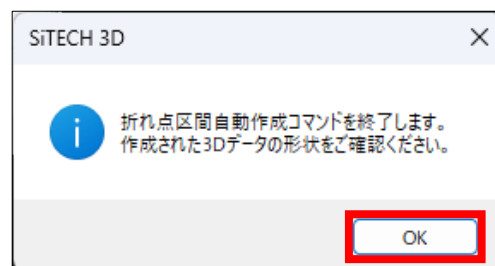
前後に作成する測点の形状を、どの測点から複写するかを設定します。前後に作成する測点は標準断面になるため、「NO.0」から複写します。



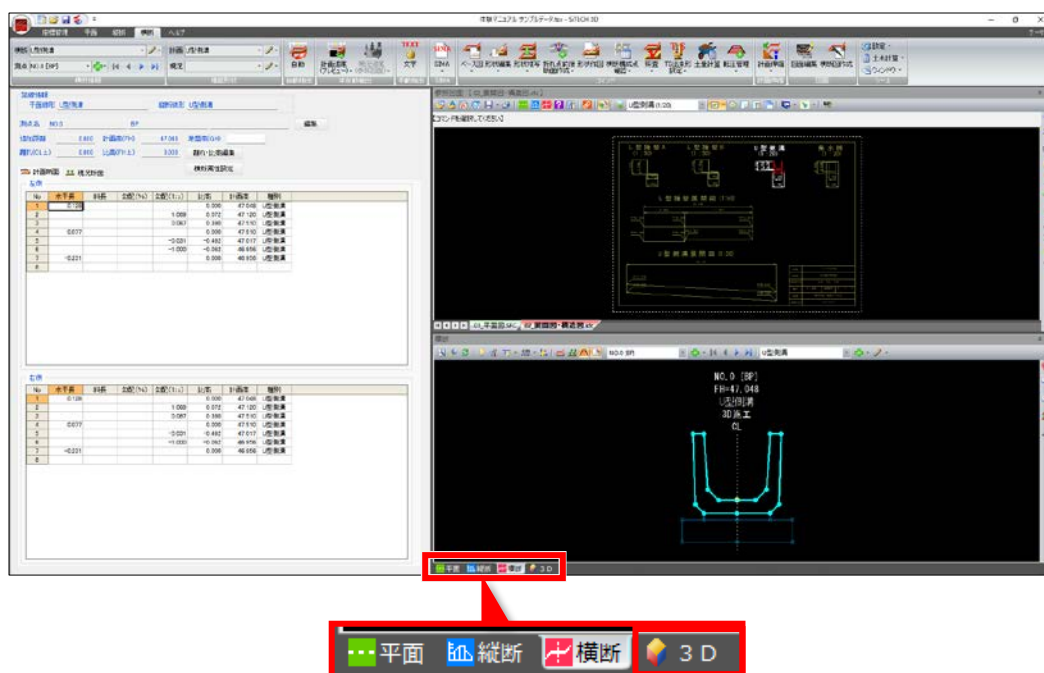
全ての設定が完了したので、[OK] ボタンをクリックします。



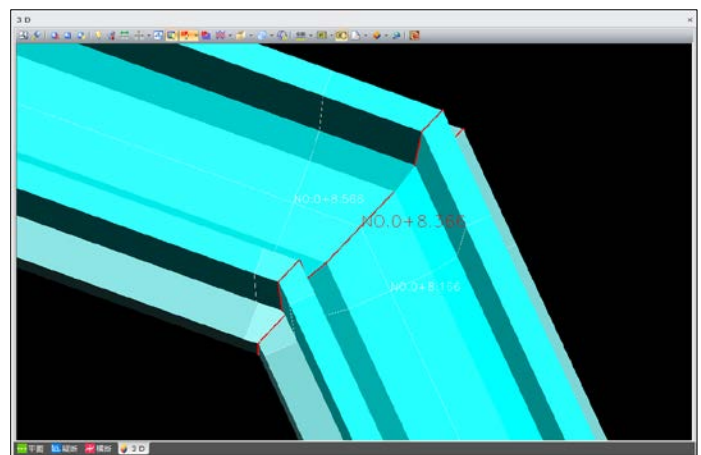
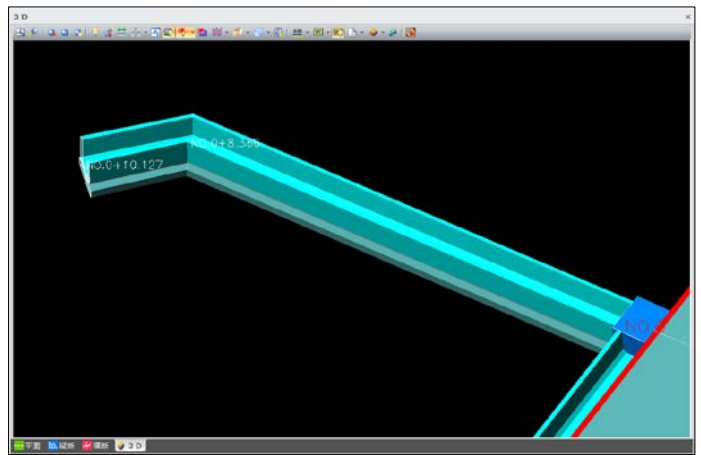
確認メッセージが表示されます。
[OK] ボタンをクリックします。



プレビュー画面の [3D] タブをクリックし、3D ビューに切り替えます。



3D ビューにモデルが表示されます。
折れ点の前後に測点（NO.0+8.166 と
NO.0+8.566）が作成できました。



4-6 3Dモデルを平面図に重ねる

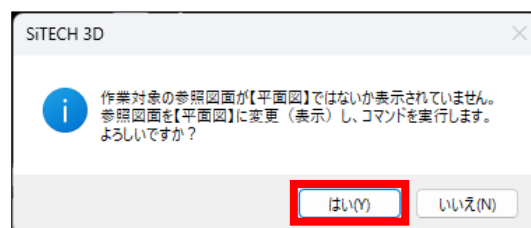
3Dモデルを平面図に重ねて確認します。

[横断構成点確認] をクリックします。



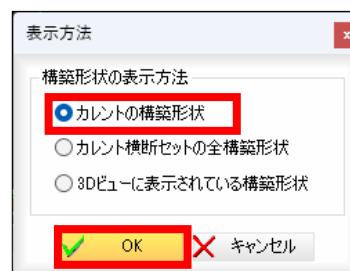
確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックします。

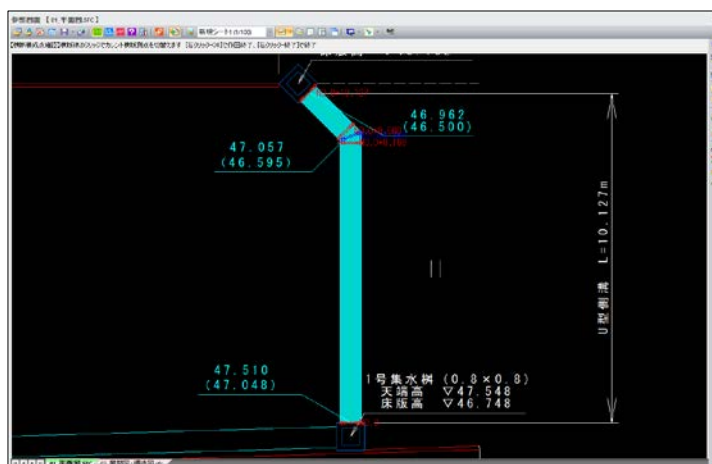


表示方法画面が表示されます。

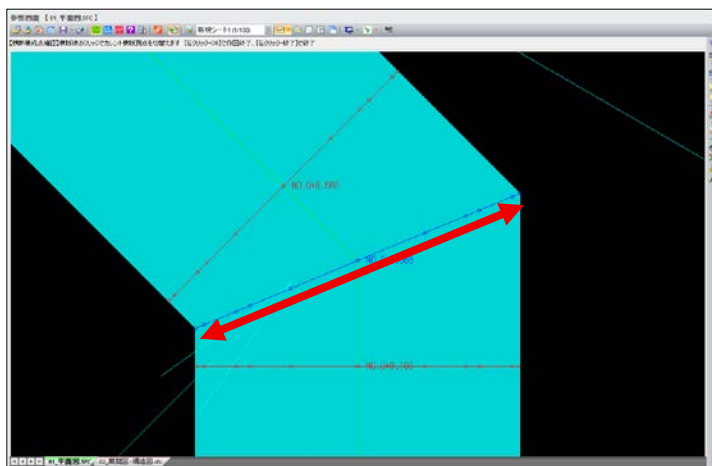
「カレントの構築形状」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



3Dモデルが平面図に重なって表示されます。作成されたデータが間違いないか平面図上で確認することができます。



折れ点 (NO.0+8.366) の幅が平面図に合っていることを確認します。



横断構成点確認を終了します。
[右クリック] – [終了]をクリックします。



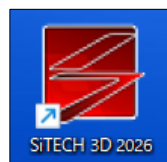
5 L型擁壁（横断形状が異なる場合）

構造物の大きさが区間ごとに異なる場合でも、「折れ点区間自動作成」機能を使用することで効率よく作成することができます。平面、縦断および横断（途中）の情報が入力されたデータを使用して確認します。

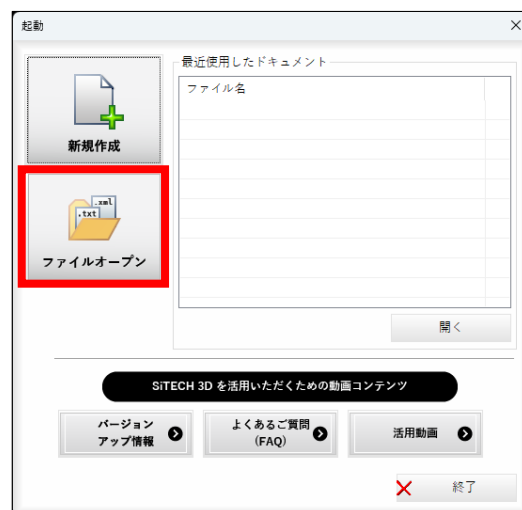
※比例区間（断面が連続的に変化する区間）は対応できません。

5-1 ファイルオープン

SiTECH 3D を起動します。

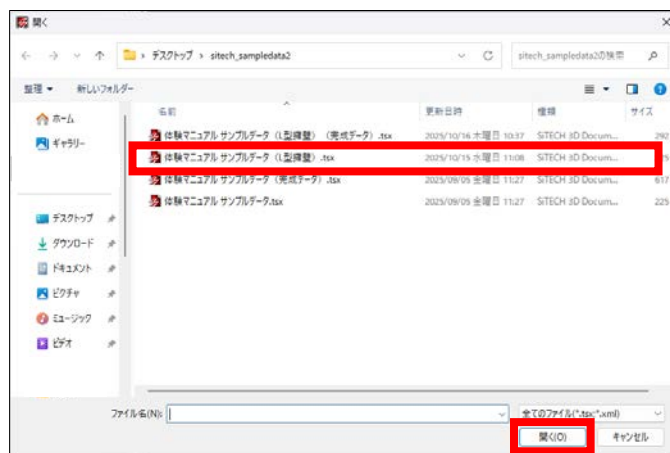


「ファイルオープン」をクリックします。

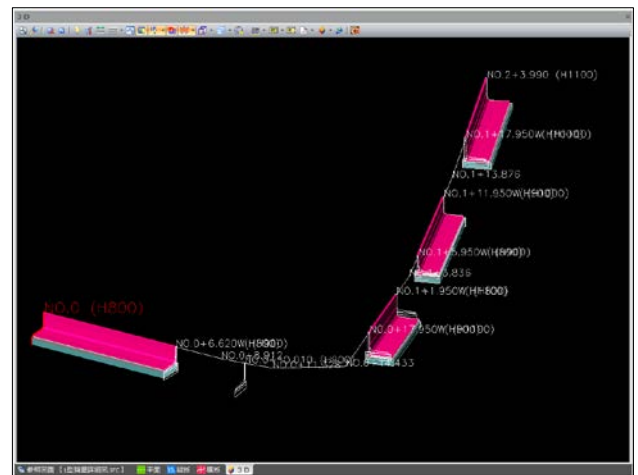


開く画面が表示されます。

サンプルデータが保存されているフォルダーを指定し、「体験マニュアル サンプルデータ（L 型擁壁）.tsx」を選択して「開く」ボタンをクリックします。



データが表示されます。
こちらのデータを使用します。



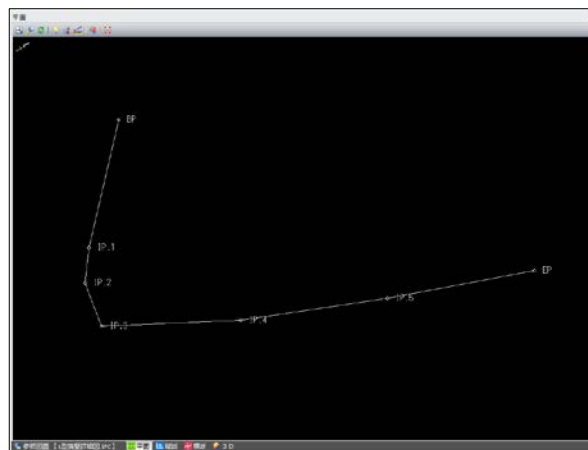
5-2 データを確認する

平面、縦断、横断のデータを確認します。

●平面●

折れ点を 5 箇所含む線形データです

平面線形【IP法】		計算結果		
No	種別	IP	X座標	Y座標
1	起点		-90795.135000	16803.029744
2	折れ点	IP.1	-90801.377323	16809.389708
3	折れ点	IP.2	-90802.849357	16811.306379
4	折れ点	IP.3	-90803.396504	16814.362777
5	折れ点	IP.4	-90795.173728	16818.923866
6	折れ点	IP.5	-90785.913136	16822.801907
7	終点	EP	-90776.452395	16826.376471
8				



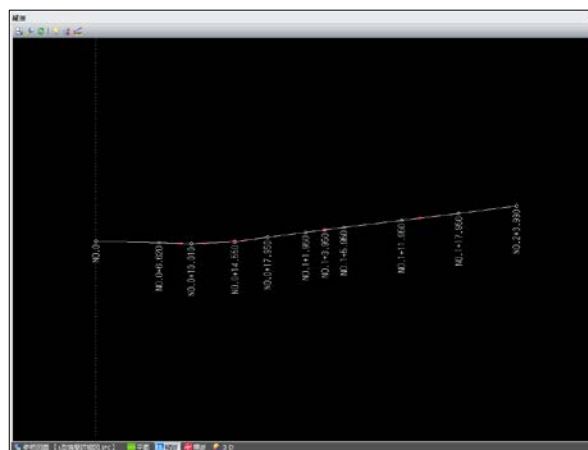
平面線形【IP法】		計算結果				
No	測点名	追加距離	単距離	X	Y	接線方向角
1	NO.0 BP	0.000	0.000	-90795.135000	16803.029744	134° 27' 54.61"
2	NO.0+8.912 IP.1	8.912	8.912	-90801.377323	16809.389708	130° 59' 41.99"
3	NO.0+11.328 IP.2	11.328	2.417	-90802.849357	16811.306379	113° 50' 13.61"
4	NO.0+14.433 IP.3	14.433	3.105	-90803.396504	16814.362777	64° 34' 58.95"
5	NO.1+3.836 IP.4	23.836	9.403	-90795.173728	16818.923866	25° 52' 10.31"
6	NO.1+13.876 IP.5	33.876	10.040	-90785.913136	16822.801907	21° 42' 36.93"
7	NO.2+3.990 EP	43.990	10.114	-90776.452395	16826.376471	20° 41' 53.28"

●縦断●

変化点として 17 箇所入力しています。

わかりやすいように、コメント欄に L 型擁壁のサイズを入力しています。

縦断変化点		計算結果(中間点)		計算結果(勾配/幅員)		縦断現況	
No	測点名	追加距離	折れ点高	VOL	コメント	計画高	勾配
1	NO.0	0.000	51.924	0.00	H800	51.924	-0.574
2	NO.0+6.620	6.620	51.886	0.00	H800	51.886	-0.574
3	NO.0+6.620	6.620	51.886	0.00	H900	51.886	
4	NO.0+10.010	10.010	51.866	0.00	H900	51.866	-0.590
5	NO.0+14.550	14.550	51.917	0.00	H900	51.917	1.123
6	NO.0+17.950	17.950	52.005	0.00	H900	52.005	2.588
7	NO.0+17.950	17.950	52.005	0.00	H1100	52.005	
8	NO.1+1.950	21.950	52.108	0.00	H1100	52.108	2.575
9	NO.1+1.950	21.950	52.108	0.00	H800	52.108	
10	NO.1+3.950	23.950	52.160	0.00	H800	52.160	2.600
11	NO.1+5.950	25.950	52.210	0.00	H800	52.210	2.500
12	NO.1+5.950	25.950	52.210	0.00	H900	52.210	
13	NO.1+11.950	31.950	52.359	0.00	H900	52.359	2.483
14	NO.1+11.950	31.950	52.359	0.00	H1000	52.359	
15	NO.1+17.950	37.950	52.509	0.00	H1000	52.509	2.500
16	NO.1+17.950	37.950	52.509	0.00	H1100	52.509	
17	NO.2+3.990	43.990	52.659	0.00	H1100	52.659	2.484
18							

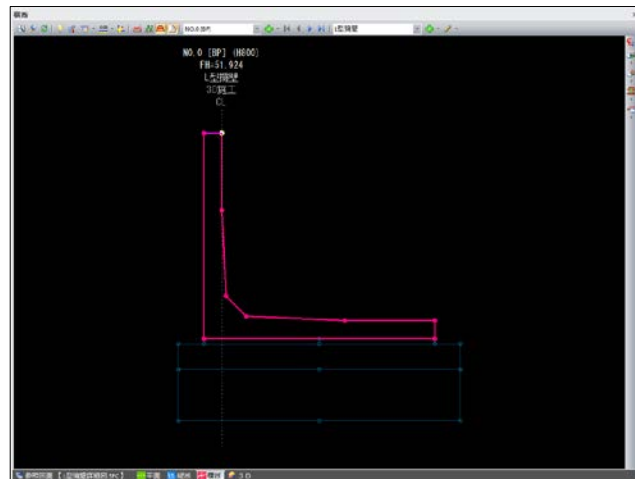
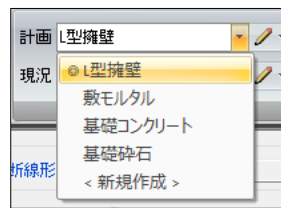
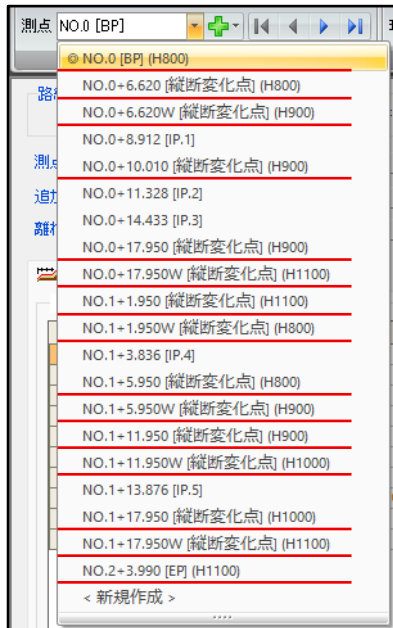


縦断変化点		計算結果(中間点)		計算結果(勾配/幅員)		縦断現況	
No	測点名	追加距離	計画高	計画高(図面)	勾配	Y	
1	NO.0 BP	0.000	51.924		-0.574	0.000	
2	NO.0+6.620	6.620	51.866		-0.574	0.000	
3	NO.0+8.912 JP.1	8.912	51.872		-0.590	0.000	
4	NO.0+10.010	10.010	51.866		-0.590	0.000	
5	NO.0+11.328 JP.2	11.328	51.881		1.123	0.000	
6	NO.0+14.433 JP.3	14.433	51.916		1.123	0.000	
7	NO.0+14.550	14.550	51.917		1.123	0.000	
8	NO.0+17.950	17.950	52.005		2.588	0.000	
9	NO.1+1.950	21.950	52.108		2.575	0.000	
10	NO.1+3.836 JP.4	23.836	52.157		2.600	0.000	
11	NO.1+3.950	23.950	52.160		2.600	0.000	
12	NO.1+5.950	25.950	52.210		2.500	0.000	
13	NO.1+11.950	31.950	52.359		2.483	0.000	
14	NO.1+13.876 JP.5	33.876	52.407		2.500	0.000	
15	NO.1+17.950	37.950	52.509		2.500	0.000	
16	NO.2+3.990 EP	43.990	52.659		2.484	0.000	

●横断●

大きさが変わる変化点のみ横断形状を入力しています。

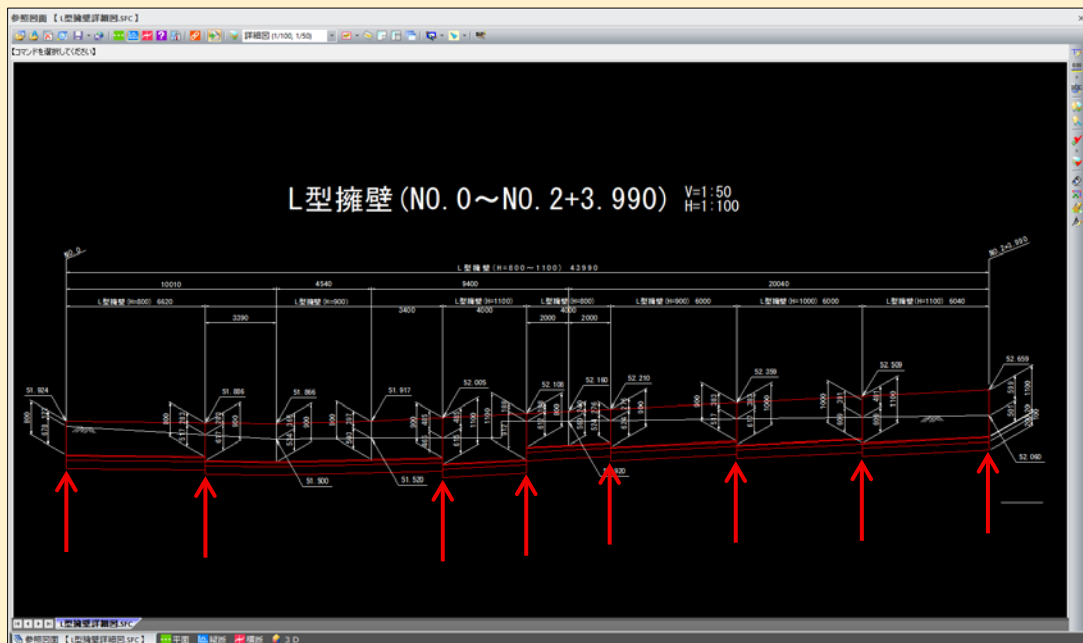
構築形状は、L型擁壁、敷モルタル、基礎コンクリート、基礎碎石の4つです。



ポイント

展開図から、測点ごとに形状が変化していることが確認できます。

このようなデータの場合、形状が変化する測点のみ横断形状を作成しておくことで、全区間の横断形状を一括で生成することができます。



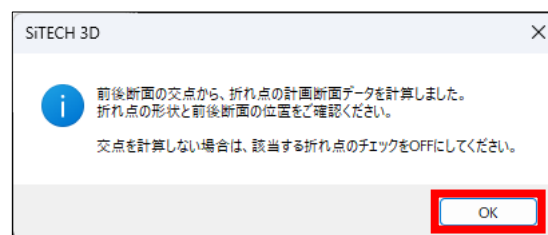
5-3 横断形状を作成する

【折れ点区間自動作成】－【折れ点区間自動作成】をクリックします。



確認メッセージが表示されます。

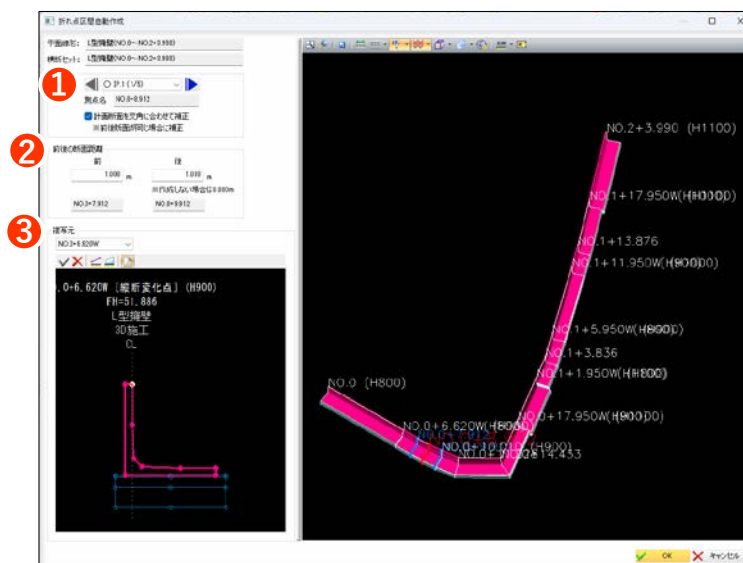
【OK】ボタンをクリックします。



折れ点区間自動作成画面が表示されます。

3つの設定を行います。

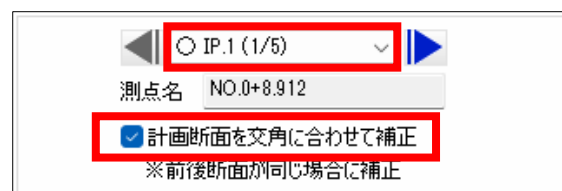
- ① 「IP (折れ点)」の選択
- ② 「前後の断面距離」を設定
- ③ 「複写元測点」を選択



- ① 「IP (折れ点)」の選択

「IP.1」が選択されていることを確認します。

※[計画断面を交角に合わせて補正]のチェックを有効にした状態のままにします。折れ点の横断形状の幅が交角に応じて自動的に広がります。



② 「前後の断面距離」を設定

IP の前後に作成する測点の位置を、IP からの距離によって設定します。

今回は「0.020m」に指定します。

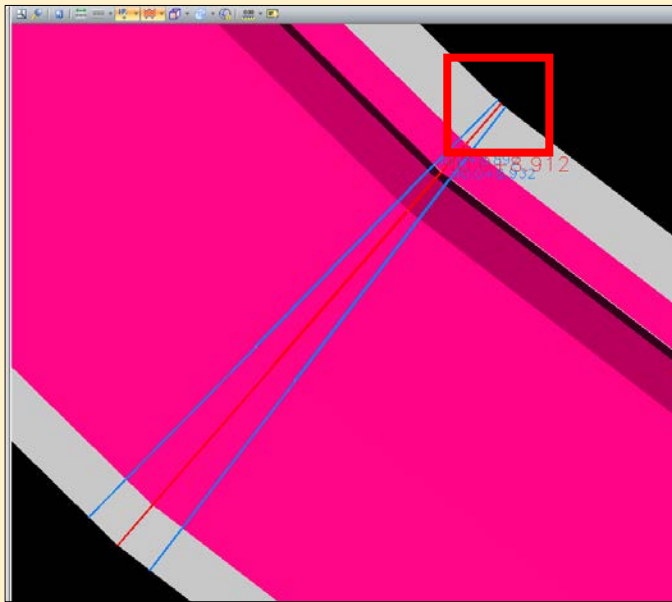
なお、前欄に数値を入力すると、後欄も自動的に連動して数値が更新されます。

前後の断面距離	
前	後
<input type="text" value="0.020"/> m	<input type="text" value="0.020"/> m
※作成しない場合は0.000m	
<input type="text" value="NO.0+8.892"/>	<input type="text" value="NO.0+8.932"/>



ポイント

「前後の断面距離」は、3D ビューを確認しながら入力します。
折れ点の断面と交差しない位置に設定することが重要です。



③ 「複写元測点」を選択

前後に作成する測点の形状を、どの測点から複写するかを設定します。今回は「NO.0+6.620W」のまま進めます。

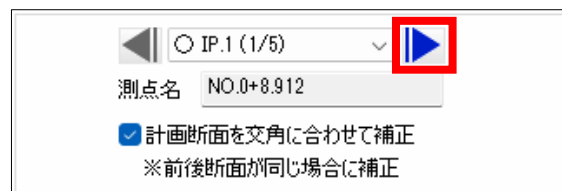
複写元
<input type="text" value="NO.0+6.620W"/>
<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
NO.0+6.620W [縦断変化点] (H900)
FH=51.886
L型擁壁
3D施工

次の IP に切り替えます。

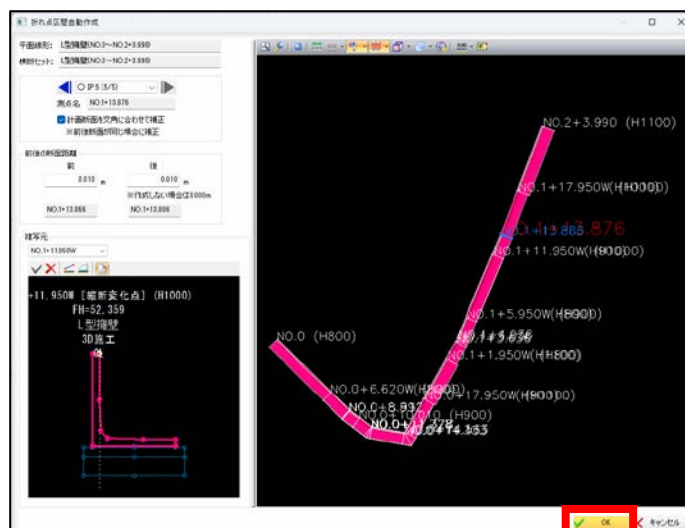
[[▶]] ボタンをクリックします。

同様に、「IP.2」～「IP.5」についても、「前後の断面距離」および「複写元測点」を設定します。

※「前後の断面距離」は 3D ビューを確認しながら入力してください。「複写元測点」は折れ点の 1 つ前の測点が自動的に選択されるので、そのままにします。

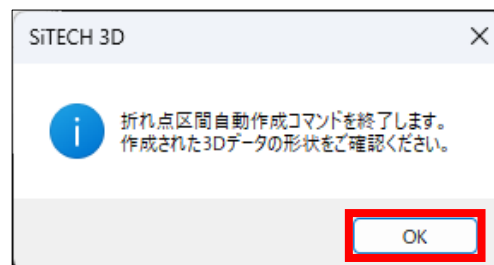


全ての設定が完了したので、[OK] ボタンをクリックします。

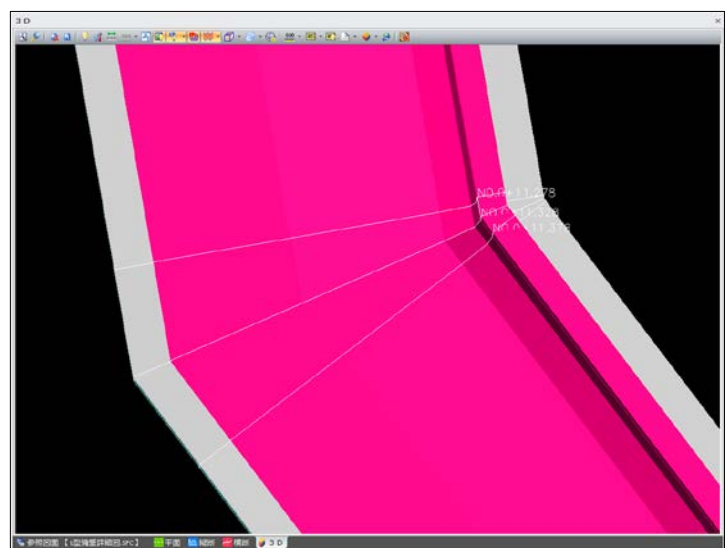
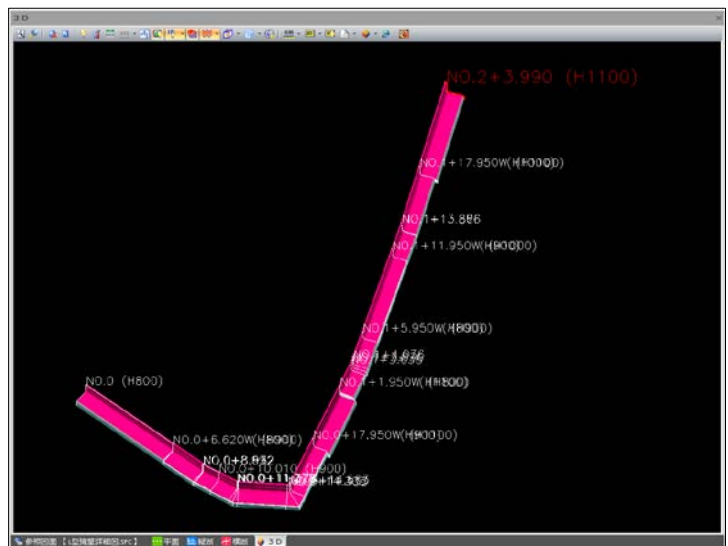


確認メッセージが表示されます。

[OK] ボタンをクリックします。



3D ビューにモデルが表示されます。
各 IP と折れ点の前後に測点が作成され、
3D が完成しました。



ご注意

- (1) 本書の内容およびプログラムの一部、または全部を当社に無断で転載、複製する事は禁止されております。
- (2) 本書およびプログラムに関して将来予告なしに変更する事があります。
- (3) プログラムの機能向上、または本書の作成環境によって、本書の内容と実際の画面・操作が異なってしまう可能性があります。この場合には、実際の画面・操作を優先させていただきます。
- (4) 本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点・誤り・記載漏れなどお気づきの事がございましたら、当社までご連絡ください。
- (5) 本書の印刷例および画面上の会社名・数値などは、実在のものとは一切関係ございません。

正式名称・商標および著作権について

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。 Adobe、Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。 その他の社名および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。